別紙

場所	時間	プログラム			
講堂	9:30 ～ 9:35	開会挨拶			
講堂	9:35 ～ 12:00	研究 発表 第１部	東村山市立久米川東小学校	令和元年度 （R1～R4）	外国語科・外国語活動と各教科等との統合を図ったCLIL（内容言語統合型学習）を用いた指導方法を取り入れた研究開発を行い、他者とのコミュニケーションの基盤を育成する学習活動を展開するとともに、創造的思考や感性・情緒等を踏まえた学習活動を展開する中で、英語に触れながら考えたり表現したりすることを通し、豊かなコミュニケーション能力の育成と各教科等における質的学力の向上を目指す。そのために、外国語学習と各教科等の内容を統合させ、そこに深い学びを促す創造的思考や自分の思いや考えをいきいきと表現する感性・情緒等を踏まえた、小学校6年間のカリキュラムとして編成された新教科「eタイム」を創設する。
			福井大学教育学部附属義務教育学校	平成30年度 （H30～R4）	本研究開発は、子供たちが未知なる将来を生き抜くための様々な資質・能力を育むことを目的とする。答えのない課題や、解が複雑に絡み合い多層構造を成す「21世紀社会」の発展のためには、多様な価値を能動的に理解し、様々な人々と合意形成を図りながら共に生き抜くべく、自律的に学ぶ力をもった児童・生徒の育成が急務である。そこで、「社会創生プロジェクト」を、主体的に課題を発見し、協働的に探究を続け、物事の本質を問い続け、省察しながら学び続ける資質・能力を育成する領域として新設する。そして、第１～９学年をつらぬく「社会創生プロジェクト」は、教科特有ではなく汎用的な資質・能力を育成するものであり、9年間の学びを有機的につなぐ重要なものとして教育課程に設定する。一貫した理念をもつ9年間の教育課程を通して、よりよく生き、社会の一形成者として他者と協働しながら、社会に提言し、かつ社会に貢献しようとする資質・能力を備えた子供たちを育成したい。
			京都教育大学附属京都小中学校	平成30年度 （H30～R4）	義務教育9年間で資質・能力を育成するための教育課程の再構築に関する研究開発 （１）義務教育9年間で育てるべき資質・能力の検討と改善 （２）発達の段階に応じた各教科における学習の目標と内容の検討及び再構築
			広島大学附属三原中学校　外２校	平成30年度 （H30～R4）	高度に競争的でグローバル化された多様性社会に適応するために求められる，３つの次元（躍動する感性・レジリエンス・横断的な知識）の基礎となる資質・能力を育成する幼小中一貫教育カリキュラムの研究開発
			山口大学教育学部附属山口小学校	平成30年度 （H30～R4）	創出と受容，転移をコアにした教科融合カリキュラムに関する研究開発～「創る科」の創設を通して～
休憩					
講堂	13:00 ～ 14:55	研究 発表 第２部	香川大学教育学部附属坂出中学校	平成30年度 （H30～R4）	予測できない未来に対応して生き抜く能力を育てるため、生徒自らが主体的に課題を設定し、自らの力で解決し、自己の成長や可能性を実感していく異学年合同の「共創型探究学習（CAN）」を創設した場合の教育課程や系統的な支援の研究開発
			福岡教育大学附属福岡小学校	令和元年度 （R1～R4） ※延長指定 （3年間）	未来社会を創造する主体に必要となる非認知能力を重視した資質・能力を育成するため，子供の文脈を中心に据えた7つの新教科の枠組みを構築する研究開発
			大分県立安心院高等学校　外９校	令和元年度 （R1～R4） ※延長指定 （3年間）	新教科「地球未来科」の充実と、「地球未来科」で身に付けた力を生かしながら、各教科で異年齢の協働的な学びを行い、主体的な学びの育成を目指す。
			お茶の水女子大学附属幼稚園	平成30年度 （H30～R4）	幼児の発達と学びの連続性を踏まえた幼稚園の教育課程（3歳児～5歳児）の編成及び保育の実際とその評価の在り方についての研究開発
	14:55 ～ 15:40	講評			
	15:40 ～ 15:45	事務連絡			
休憩					
講堂 ホワイエ	16:00 ～ 17:00	サテライトセッション 東村山市立久米川東小学校 福井大学教育学部附属義務教育学校 京都教育大学附属京都小中学校 広島大学附属三原中学校　外２校 山口大学教育学部附属山口小学校	香川大学教育学部附属坂出中学校 福岡教育大学附属福岡小学校 大分県立安心院高等学校　外９校 お茶の水女子大学附属幼稚園		